



# とちり、通信

第58号  
平成30年9月

平成30年（2018年）4月1日、とちぎリハビリテーションセンターは地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンターとして新たなスタートを切りました。



## 理事長あいさつ



星野雄一理事長

とちぎリハビリテーションセンターは、その前身である栃木県身体障害医療福祉センターの機能を引き継ぎ、リハビリテーション病院や心身障害児総合通園センターの機能を加え、更には知的障害者更生相談所を統合し、平成13年9月1日に、とちぎ健康の森に開設されました。

開設後は、16年余の長きにわたり、心身に障害のある乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層に対応したリハビリテーションセンターとして、県民の健康と福祉の向上に貢献して参りました。

このたび、経営形態を地方独立行政法人とし、名称も栃木県立リハビリテーションセンターに改め、新たなスタートを切りました。

地方独立行政法人の特長である自立性、機動性、透明性を十分に活かして、柔軟で弾力的な運営を行い、質の高い総合的なリハビリテーション医療を安定的に提供することなどで、より一層、心身に障害のある県民の自立と社会参加の促進に寄与してまいりたいと考えています。

このため、患者さんやご家族からの相談に対応するとともに、地域の医療機関や福祉施設等と連携を図る「患者サポートセンター（地域医療連携室）」を設置したほか、回復期医療の需要増に対応するため、回復期リハビリテーション病棟を増床致しました。

隣接する栃木県障害者総合相談所や栃木県立わかかき特別支援学校とはこれまでどおり密接に連携を図りながら、県内における医療と福祉の向上に貢献してまいりますので、引き続き、ご支援を宜しくお願い致します。

## ◆トピックス ー実施した行事、イベントなどをお伝えしますー

### 『患者サポートセンター（地域医療連携室）』を開設しました！

独法化にあわせ、「患者サポートセンター（地域医療連携室）」を設置しました。

保健師1名、社会福祉士3名の計4名が、少しでも皆様のお力になれるよう、日々業務に取り組んでいます。

小さな困りごとでも遠慮なくご相談下さい。



#### ●主な業務内容

- ・入院相談 地域の医療機関の先生方、介護保険関連機関、医療福祉関連機関と連携を図り、円滑な転院、入院支援を行います。
- ・退院援助 当センターに入院してから、退院されるまで、患者さんやご家族と継続的に関わり、退院までスムーズに進むよう、必要なサービスや諸手続き、退院後必要な社会資源について情報提供を行います。
- ・医療福祉相談 保健師や社会福祉士が入院や外来通院に関する困りごと等の相談に応じます。

#### ●患者サポートセンターのご利用について

|      |  |
|------|--|
| 受付方法 | 相談窓口：直接患者サポートセンターまでお越しください。<br>入院中の場合：病棟看護師にお申し出ください。<br>※ 相談の予約も可能です。 |
| 受付時間 | 月曜日～金曜日：午前9時～午前12時、午後1時～午後4時30分<br>※ 土、日曜日、祝祭日、年末年始はお休みです。             |
| 連絡先  | TEL：028-623-7051   |





## 6階病棟をオープンしました。

回復期病床の需要増に対応するため、平成30年4月、6階に新たな病棟（40床）を開棟しました。その結果、医療センターの病床数は120床となりました。

- 6階（新）回復期リハ病棟（40床）
- 5階 回復期リハ病棟（40床）
- 4階 一般病棟（40床）



## 電子カルテシステムを導入しました。

平成30年3月5日、電子カルテシステムを導入しました。

電子カルテシステムとは、診療情報を電子情報として一括管理し、データベースに記録するシステムです。

診療情報の電子化により、情報の共有や多職種の連携による医療の提供などが容易になりますので、県民の皆様により良い医療が提供できるよう努めます。

## こども発達支援センター ～春の遠足に行きました!!～

新緑の5月、快晴の中こども発達支援センターの福祉型のお友達は、ぱんだ組・うさぎ組とこあら組・ひよこ組の2日に分かれ、上三川町の蓼沼親水公園に行きました。

バスが大好きなお友達は、バスを見た時からワクワクして喜んでいました。公園まで大型バスに乗り「しゅっぱーつ!!!」バスの中では窓から景色を眺めたり、手遊びをして楽しく過ごしました。

公園では水着に着替え、大好きな水遊びを元気いっぱい楽しんだり大きな滑り台や汽車の遊具、それからターザンロープで遊ぶお友達もいました。

沢山遊んだ後は、待ちに待ったお弁当の時間です。

お外でお友達と一緒に食べる、お母さんの愛情たっぷりのお弁当。いつもより何倍もおいしく、そして楽しい時間になりました。

また、医療型のきりん組・りす組のお友達は宇都宮動物園へ行きました。たくさんの動物を見て、エサあげにも挑戦しました。

乗り物にも乗り楽しく過ごすことができました。素敵な思い出を作ることができた春の遠足でした。



水遊び楽しいね♪



汽車ポッポ！いい気持ち～！

## ボランティアの協力を得て野菜を育てています。

障害者自立訓練センター（駒生園）では、生活訓練プログラムにガーデニングを取り入れています。センターの利用者は慣れない作業で、始めはプランターで花を育てることが手いっぱいだった状況でしたが、ボランティアの協力を得ながら、少しずつ畑を耕し、季節の野菜を収穫できるまでになりました。



トマトの支柱を立てる作業



畑ですくすくと育った野菜達

このたび、リハビリテーションセンターに登録ボランティア制度ができたことから、お世話になっている「とちぎいやしの園芸研究会」に登録をしていただきました。豊かな知識と経験に基づき、毎週水曜日の午前中に丁寧な御指導をいただいています。

例年夏には、訓練室の窓などにアサガオや風船かずらのグリーンカーテンを設置し涼感を演出しています。今年度は、新たに患者サポートセンターの前にもグリーンカーテンを設置しました。

これからも、ボランティアの協力を得ながらガーデニングプログラムの充実を図っていきます。

## インフォメーション

### ○地域連携のための『とちリハ病院研修会』の御案内

当センターの病院スタッフが持っている医療スキル等を、障害のある方々を支援する地域の現場で働く皆さんに還元し、障害のある方々の生活の質の向上や社会参加の促進に役立ててもらうことを目的に、平成23年度から実施している研修会です。

●日 時 平成30年11月12日（月） 13時30分～16時00分

●テーマ 「リハビリテーションと栄養」～美味しく食べて、元気にリハビリ～

●内容、講師

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1 リハビリテーション栄養の基礎知識     | リハビリテーション科医師 栗田 英治    |
| 2 リハビリテーション栄養の実際       | 管理栄養士 柴田 純美           |
| 3 リハビリテーション栄養の看護       | 回復期リハビリテーション看護師 平出 昌子 |
| 4 リハビリテーションのためのポジショニング | 言語聴覚士 小久保めぐみ・横倉 航     |

●会 場 とちぎ健康の森講堂

※申込み方法など詳細につきましては、当センターのホームページをご覧ください。

(医事課)

(発行) 栃木県立リハビリテーションセンター  
管理部総務課

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1  
TEL 028-623-6101 (代表)  
FAX 028-623-6151  
ホームページ <https://tochigi-riha.jp/>

